



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <https://www.santen.com/ja>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 伊藤 毅

問合せ先責任者(役職名) IR室 室長

(氏名) 佐久間 ギヨム TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

##### コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	222,833	11.5	49,288	81.5	39,604	87.2	39,629	87.1	107.61	107.29
2023年3月期第3四半期	199,786	2.0	27,153	△21.4	21,154	△18.2	21,181	△18.2	54.19	54.11

##### IFRS(フル)ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	222,833	11.5	36,157	-	33,559	-	26,580	-	26,613	-	32,948	-
2023年3月期第3四半期	199,786	2.0	△10,147	-	△11,593	-	△16,088	-	△16,064	-	△6,664	-

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2024年3月期第3四半期	72.26		72.05	
2023年3月期第3四半期	△41.13		△41.13	

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期第3四半期	427,820		297,984		298,720		69.8		823.08	
2023年3月期	421,179		293,297		293,979		69.8		783.30	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	16.00	-	16.00	32.00
2024年3月期	-	16.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正については、本日(2024年2月8日)公表しました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

##### コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	8.2	58,000	31.1	43,500	30.9	118.87

##### IFRS(フル)ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	8.2	41,000	-	38,300	-	29,500	-	80.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

- IFRS(フル)ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明(P5参照)」をご覧ください。
- 2023年5月11日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2024年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たりコア当期利益」及び「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	375,980,354株	2023年3月期	375,885,854株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	12,792,169株	2023年3月期	345,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	368,195,265株	2023年3月期3Q	390,707,294株

（注）期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2023年3月期 41,909株、2024年3月期3Q 54,700株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年2月8日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 .....	9
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(会計上の見積りの変更) .....	15
(その他の費用) .....	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	15
(重要な後発事象) .....	16
3. 連結参考資料 .....	17
(1) 主要製品売上収益 .....	17
(2) 主要通貨為替レート .....	17
(3) 開発状況 .....	18
(4) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費 .....	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

① 当第3四半期連結累計期間の業績の状況

（ア）コアベース ※1（P5参照）

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	199,786	222,833	11.5%
コア営業利益	27,153	49,288	81.5%
コア四半期利益	21,154	39,604	87.2%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	21,181	39,629	87.1%

[売上収益]

前年同期と比べ11.5%増加し、2,228億円となりました。

医療用医薬品事業は、日本では薬価改定の影響等があったものの主力製品の拡大に注力、中国では前年の新型コロナウイルス感染症の再拡大からの市場の回復、アジア・EMEAでも主力製品が堅調に推移し、前年同期と比べ11.5%増加し、2,070億円となりました。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率、（ ）は為替影響を除いた対前年同期増減率

（単位：百万円）

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	114,141	22,252	21,144	47,000	2,478	207,015
	2.6%	38.6%	23.8%	21.0%	2.1%	11.5%
	(-)	(37.2%)	(16.8%)	(12.2%)	(△1.4%)	(8.9%)
一般用医薬品	7,927	230	668	-	-	8,825
	8.2%	18.0%	4.7%	-	-	8.2%
医療機器	2,630	38	47	2,309	504	5,528
	7.3%	30.3%	-	33.0%	41.2%	20.8%
その他	1,326	56	83	-	-	1,465
	1.7%	10.3%	△8.9%	-	-	1.3%
合計	126,024	22,575	21,942	49,309	2,982	222,833
	3.0%	38.3%	23.2%	21.5%	7.2%	11.5%
	(-)	(36.9%)	(16.4%)	(12.7%)	(3.6%)	(9.0%)

（注）外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国又は地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、欧州、中東及びアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

2%台半ばの薬価改定や前期末の花粉飛散に伴うアレジオン点眼液<sup>※2</sup>の在庫調整の影響はあったものの、2022年11月に販売を開始したジクアスLX点眼液等の主力製品の拡大に注力した結果、前年同期と比べ2.6%増加し、1,141億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	49億円	（対前年同期増減率	△19.2%）
「タプコム配合点眼液」	18億円	（対前年同期増減率	△13.3%）
「コソプト配合点眼液」	31億円	（対前年同期増減率	△15.1%）
「エイベリス点眼液」	34億円	（対前年同期増減率	+12.7%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液 <sup>※3</sup> （P5参照）」	164億円	（対前年同期増減率	+36.1%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液 <sup>※2</sup> （P5参照）」	115億円	（対前年同期増減率	△4.5%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液 <sup>※4</sup> （P5参照）」	562億円	（対前年同期増減率	+2.7%）

◇中国

市場は前年の新型コロナウイルス感染症の再拡大から回復し、主力製品が好調に推移した結果、円換算ベースで前年同期と比べ38.6%増加し（為替影響を除いた成長率は+37.2%）、223億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	12億円	（対前年同期増減率	+57.2%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	28億円	（対前年同期増減率	+25.8%）
「ヒアレイン点眼液」	63億円	（対前年同期増減率	+27.0%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	70億円	（対前年同期増減率	+64.0%）

◇アジア（中国除く）

韓国等主要国では下記主要製品が堅調に推移し、円換算ベースで前年同期と比べ23.8%増加し（為替影響を除いた成長率は+16.8%）、211億円となりました。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	18億円	（対前年同期増減率	+5.2%）
「タプコム配合点眼液」	10億円	（対前年同期増減率	+24.2%）
「コソプト配合点眼液」	51億円	（対前年同期増減率	+14.9%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	19億円	（対前年同期増減率	+36.2%）
「Ikervis（アイケルビス）」	14億円	（対前年同期増減率	+18.0%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	27億円	（対前年同期増減率	+49.2%）

◇ EMEA

現地での領域別市場シェア一位の緑内障製品を中心に伸長し、第1四半期にIkervis（アイケルビス）の保険償還の精算額の見直しを行った影響もあり、円換算ベースで前年同期と比べ21.0%増加し（為替影響を除いた成長率は+12.2%）、470億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・ 緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	62億円	（対前年同期増減率	+ 3.0%）
「タプコム配合点眼液」	43億円	（対前年同期増減率	+22.1%）
「コソプト配合点眼液」	109億円	（対前年同期増減率	+10.0%）
「トルソプト点眼液」	28億円	（対前年同期増減率	+ 6.9%）
・ 角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	84億円	（対前年同期増減率	+95.6%）
「Cationorm（カチオノーム）」	22億円	（対前年同期増減率	+ 3.7%）
・ 抗アレルギー点眼剤領域			
「Verkazia（ベルカジア）」	10億円	（対前年同期増減率	+63.6%）

◇ 米州

販売・マーケティング活動の合理化を推進しており、円換算ベースで前年同期と比べ2.1%増加し（為替影響を除いた成長率は△1.4%）、25億円となりました。

< 一般用医薬品 >

前年同期と比べ8.2%増加し、88億円となりました。

「サンテメディカルシリーズ」「サンテボーティエシリーズ」「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に加え、スイッチOTC製品「ヒアレインS」、「サンテFXシリーズ」に注力しています。

< 医療機器 >

日本では下記レンティス コンフォート等の眼内レンズ、及び、EMEAではプリザーフロ マイクロシャントの販売が好調に推移し、前年同期と比べ20.8%増加し、55億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「レンティス コンフォート」	10億円	（対前年同期増減率	△ 1.7%）
「プリザーフロ マイクロシャント」	28億円	（対前年同期増減率	+61.6%）

< その他 >

その他の売上収益は15億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ14.9%増加し、1,314億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ2.2%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△5.7%）、641億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ16.7%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△19.7%）、180億円となりました。

以上により、コアベースの営業利益は、前年同期と比べ81.5%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+79.2%）、493億円となりました。

- ※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を事業活動自体の収益性を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。
- ・製品に係る無形資産償却費
  - ・その他の収益
  - ・その他の費用
  - ・金融収益
  - ・金融費用
  - ・持分法による投資損益
  - ・企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用
- ※2 アレジオンLX点眼液を含みます。
- ※3 ジクアスLX点眼液を含みます。
- ※4 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	199,786	222,833	23,047	11.5%
営業利益（△は損失）	△10,147	36,157	46,305	－%
四半期利益（△は損失）	△16,088	26,580	42,668	－%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（△は損失）	△16,064	26,613	42,677	－%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

コアベースからの調整内容として、米州の合理化に関する費用が、売上原価に2億円、販売費及び一般管理費に7億円、研究開発費に2億円それぞれ発生しました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ2.0%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△4.8%）、71億円となりました。これは主に、2014年にMerck & Co., Inc.（米国）から譲り受けた眼科製品及び2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したプリザーフロ マイクロシヤントに関する無形資産、並びに2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」及び2023年より欧州で販売を開始した「Rhopressa / Rocklatan」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、14億円となりました。これは主に、米州における医療用医薬品事業に係る一部製品の資産譲渡によるものです。

その他の費用は、64億円となりました。これは主に、日本における早期退職特別支援プログラムに伴う退職特別加算金や米州における医薬品販売事業の最大限合理化等に伴う事業構造改革費用です。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は362億円（前年同期は101億円の営業損失）となりました。

[四半期利益]

金融収益は、13億円となりました。

金融費用は、10億円となりました。

持分法による投資損失は、29億円となりました。これは主にVerily Life Sciences LLC（米国）との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC（米国）の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、前年同期から25億円増加し、70億円となりました。これは主に、上述のIFRS（フル）ベースの営業利益の増加に伴う税引前四半期利益の増加、及び日本における試験研究費の税額控除適用額の減少によるものです。

これらにより、四半期利益は266億円（前年同期は161億円の四半期損失）となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は266億円（前年同期は161億円の親会社の所有者に帰属する四半期損失）となりました。売上収益に対するその比率は、11.9%となりました。



② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF<sub>2α</sub>誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2022年12月に販売承認を申請しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：セペタプロスト）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2023年6月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では第Ⅱ相試験（探索的試験）を終了しました。

プロスタグランジンF<sub>2α</sub>誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、アジアで2022年3月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では2023年11月に販売承認を取得しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩）は、日本で2020年11月から第Ⅲ相試験を実施しています。欧州では販売承認を取得しており、2023年2月以降スウェーデンなどで販売しています。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得しています。

ROCK阻害剤及びプロスタグランジンF<sub>2α</sub>誘導体の配合剤STN1014000（PG-324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト）は、欧州で販売承認を取得しており、2023年1月以降ドイツなどで販売しています。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、既に承認・販売されている欧州、アジア、カナダなどに続き、中国で2022年4月に販売承認を取得し、米国で2022年5月に発売しました。2023年7月に米国・カナダにおける製造・商業化の独占的権利をHarrow Health, Inc.（米国）へ供与しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2022年11月に発売しました。アジアでは、2023年3月に韓国で販売承認を申請しました。

ドライアイを対象とするSTN1014100（一般名：オロダテロール塩酸塩）は、日本で2023年1月から第Ⅰ相／前期第Ⅱ相試験を実施しています。

フックス角膜内皮ジストロフィを対象としてアクチュアライズ株式会社と共同開発契約を締結しているSTN1010904\*（一般名：シロリムス）は、米国、フランス、インドで2022年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。（\*開発コード（STN1010904）は、第Ⅱ相試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2022年8月に前期第Ⅱ相試験を終了し、追加の前期第Ⅱ相試験を実施する予定です。

アレルギー性結膜炎を対象とするSTN1011402（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2023年3月に製造販売承認を申請しました。

<屈折異常領域>

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2023年10月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を終了しました。中国では2022年6月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、導入元であるSydnexis Inc.（米国）により欧州及び米国で第Ⅲ相試験が実施されています。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しています。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2023年5月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。中国では2023年8月に第Ⅰ相試験を開始しました。

老視を対象とするSTN1013600（一般名：ウルソデオキシコール酸）は、前期第Ⅱ相試験のデータ解析の結果、開発を中止しました。

<その他の領域>

眼瞼下垂を対象とするSTN1013800（一般名：オキシメタゾリン塩酸塩）は、日本で2022年10月から第Ⅲ相試験を実施しています。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324及びPG-324はAlcon Inc.（スイス）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）での開発コードです。

※STN1011700（DE-117、一般名：オミデネバグ イソプロピル）は、日本、アジアで製品名エイベリスとして販売しています。米国では製品名OMLONTIとして販売承認を取得しており、2023年7月に米国における製造・商業化の独占的権利についてVisiox Pharmaceuticals, Inc.（米国）へ供与しました。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末の資産は、4,278億円となりました。営業債権の流動化に伴う営業債権及びその他の債権の減少などがあった一方、現金の増加、棚卸資産の増加及び蘇州新工場建設に伴う有形固定資産の増加などにより前期末と比べ66億円増加しました。

資本は、2,980億円となりました。自己株式の取得による資本圧縮効果の一方、利益剰余金及びその他の資本の構成要素の増加などにより前期末と比べ47億円増加しました。

負債は、1,298億円となりました。法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などがあった一方、その他の流動負債の増加などにより前期末と比べ20億円増加しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と同率の69.8%となりました。

なお、SantenグループではROE（親会社所有者帰属持分利益率）を最重要指標に、キャッシュ・フローの最大化と資本コストの低減の両面から株主価値最大化に取り組んでいます。キャッシュの源泉としては営業活動から得られるインフローを基本としつつ、キャッシュ・コンバージョン・サイクル管理により運転資本の効率を高めることでキャッシュ創出力の最大化に取り組めます。この取り組みの一環として、当第3四半期より営業債権の流動化を新たに開始しています。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、594億円の収入（前年同期は285億円の収入）となりました。主に四半期利益266億円、減価償却費及び償却費136億円、営業債権の流動化に伴う営業債権及びその他の債権の減少234億円、並びに法人所得税の支払額115億円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、57億円の支出（前年同期は236億円の支出）となりました。主に有形固定資産の取得による支出60億円などによるものです。また政策保有株式の見直しを継続して実施しており、当第3四半期は1銘柄を売却しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、313億円の支出（前年同期は280億円の支出）となりました。主に自己株式の取得による支出170億円及び配当金の支払額118億円などによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比べ241億円増加し、820億円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2023年11月7日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	199,786	222,833
売上原価	△85,449	△91,600
売上総利益	114,337	131,233
販売費及び一般管理費	△65,502	△64,749
研究開発費	△21,682	△18,208
製品に係る無形資産償却費	△7,225	△7,083
その他の収益	523	1,366
その他の費用	△30,598	△6,401
営業利益 (△は損失)	△10,147	36,157
金融収益	994	1,313
金融費用	△709	△981
持分法による投資損失	△1,731	△2,930
税引前四半期利益 (△は損失)	△11,593	33,559
法人所得税費用	△4,495	△6,979
四半期利益 (△は損失)	△16,088	26,580
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	2,245	△577
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	6,598	6,341
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	△29
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	581	635
その他の包括利益	9,424	6,369
四半期包括利益合計	△6,664	32,948
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者持分	△16,064	26,613
非支配持分	△24	△33
四半期利益 (△は損失)	△16,088	26,580
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	△6,646	33,002
非支配持分	△18	△53
四半期包括利益合計	△6,664	32,948
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△41.13	72.26
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△41.13	72.05
<コアベース>		
売上収益	199,786	222,833
コア営業利益	27,153	49,288
コア四半期利益	21,154	39,604
基本的1株当たりコア四半期利益 (円)	54.19	107.61
希薄化後1株当たりコア四半期利益 (円)	54.11	107.29
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	21,181	39,629
非支配持分	△27	△25
コア四半期利益	21,154	39,604

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	66,173	68,451
無形資産	96,309	91,460
金融資産	28,038	26,973
退職給付に係る資産	3,438	4,401
持分法で会計処理されている投資	9,321	6,951
繰延税金資産	2,810	3,356
その他の非流動資産	1,763	1,622
非流動資産合計	207,853	203,214
流動資産		
棚卸資産	39,352	46,923
営業債権及びその他の債権	107,165	84,935
その他の金融資産	774	1,328
未収法人所得税	60	5
その他の流動資産	8,072	9,386
現金及び現金同等物	57,903	82,030
流動資産合計	213,326	224,606
資産合計	421,179	427,820

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,702	8,769
資本剰余金	9,789	9,509
自己株式	△364	△16,398
利益剰余金	238,071	253,167
その他の資本の構成要素	37,781	43,673
親会社の所有者に帰属する持分合計	293,979	298,720
非支配持分	△683	△736
資本合計	293,297	297,984
<b>負債</b>		
非流動負債		
金融負債	33,513	33,623
退職給付に係る負債	1,271	1,381
引当金	691	715
繰延税金負債	1,592	1,185
その他の非流動負債	1,312	1,494
非流動負債合計	38,378	38,398
流動負債		
営業債務及びその他の債務	44,945	45,121
その他の金融負債	25,858	28,226
未払法人所得税等	6,745	2,426
引当金	4,212	1,988
その他の流動負債	7,744	13,676
流動負債合計	89,504	91,438
負債合計	127,883	129,836
資本及び負債合計	421,179	427,820

(3) 要約四半期連結持分変動計算書  
前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	8,672	9,370	△718	290,477	—	8,438	19,950
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				△16,064			
その他の包括利益						2,245	6,593
四半期包括利益合計	—	—	—	△16,064	—	2,245	6,593
所有者との取引額							
新株の発行	12	12					
自己株式の取得		△30	△17,907				
自己株式の処分		△2	364				
自己株式の消却		△12,998	12,998				
利益剰余金から資本剰余金への振替		12,993		△12,993			
配当金				△12,611			
株式報酬取引		263					
その他				780		△780	
所有者との取引額合計	12	239	△4,546	△24,824	—	△780	—
2022年12月31日残高	8,684	9,609	△5,264	249,589	—	9,903	26,543

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2022年4月1日残高	—	914	384	29,688	337,488	△645	336,844
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				—	△16,064	△24	△16,088
その他の包括利益		581		9,418	9,418	6	9,424
四半期包括利益合計	—	581	—	9,418	△6,646	△18	△6,664
所有者との取引額							
新株の発行			△16	△16	7		7
自己株式の取得				—	△17,937		△17,937
自己株式の処分				—	362		362
自己株式の消却				—	—		—
利益剰余金から資本剰余金への振替				—	—		—
配当金				—	△12,611		△12,611
株式報酬取引				—	263		263
その他				△780	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△16	△797	△29,916	—	△29,916
2022年12月31日残高	—	1,495	368	38,310	300,927	△663	300,264

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額
2023年4月1日残高	8,702	9,789	△364	238,071	—	7,917	27,971
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				26,613			
その他の包括利益						△577	6,361
四半期包括利益合計	—	—	—	26,613	—	△577	6,361
所有者との取引額							
新株の発行	66	66					
自己株式の取得		△20	△16,933				
自己株式の処分		1	900				
配当金				△11,881			
株式報酬取引		△327					
その他				364		△364	
所有者との取引額合計	66	△280	△16,033	△11,517	—	△364	—
2023年12月31日残高	8,769	9,509	△16,398	253,167	—	6,976	34,332

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2023年4月1日残高	—	1,562	331	37,781	293,979	△683	293,297
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				—	26,613	△33	26,580
その他の包括利益	△29	635		6,389	6,389	△20	6,369
四半期包括利益合計	△29	635	—	6,389	33,002	△53	32,948
所有者との取引額							
新株の発行			△133	△133	0		0
自己株式の取得				—	△16,953		△16,953
自己株式の処分				—	901		901
配当金				—	△11,881		△11,881
株式報酬取引				—	△327		△327
その他				△364	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△133	△496	△28,261	—	△28,261
2023年12月31日残高	△29	2,197	198	43,673	298,720	△736	297,984

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益（△は損失）	△16,088	26,580
減価償却費及び償却費	13,145	13,618
減損損失	30,512	2
事業構造改革費用	—	5,806
持分法による投資損益（△は益）	1,731	2,930
金融収益及び金融費用（△は益）	△436	△347
法人所得税費用	4,495	6,979
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	6,124	23,352
棚卸資産の増減（△は増加）	611	△6,358
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	261	△255
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	348	△2,338
その他の流動資産の増減（△は増加）	△981	△1,238
未払賞与の増減（△は減少）	△3,147	△1,703
未払金の増減（△は減少）	△2,290	△3,886
預り金の増減額（△は減少）	43	6,977
その他	990	682
小計	35,317	70,802
利息の受取額	199	264
配当金の受取額	461	486
利息の支払額	△305	△562
法人所得税の支払額	△7,193	△11,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,480	59,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△586	△293
投資の売却による収入	1,489	768
有形固定資産の取得による支出	△14,452	△6,008
無形資産の取得による支出	△6,208	△811
無形資産の売却による収入	—	790
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△3,470	△207
その他	△372	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,600	△5,729
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△11,234	—
長期借入れによる収入	15,617	—
長期借入金の返済による支出	△5	△318
自己株式の取得による支出	△17,907	△16,962
配当金の支払額	△12,506	△11,792
リース負債の返済による支出	△2,602	△2,466
その他	644	217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,994	△31,320
現金及び現金同等物の増減額	△23,114	22,390
現金及び現金同等物の期首残高	83,014	57,903
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,320	1,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,220	82,030



（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

売上収益は、返品、リベート及び値引き等を差し引いた純額で測定しています。変動対価を含む売上収益の金額については、変動対価に関する不確実性が解消された時点で認識した収益の累計額の重大な戻入れが生じない可能性が非常に高い範囲内でのみ、取引価格に含めています。その変動対価は見積りに基づいているため、より有用な情報を入手できる場合に変更される可能性があります。第1四半期連結会計期間において、Ikervis（アイケルビス）の保険償還の精算額の協議を進める中で、精算額の見積りを変更しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益が2,315百万円増加しています。

（その他の費用）

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

前第3四半期連結累計期間に30,512百万円の減損損失を計上しており、要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書の「その他の費用」に計上しています。

これは主に前第2四半期連結会計期間において、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）及びEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）の製品に係る無形資産、のれん、及び有形固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失30,008百万円（製品に係る無形資産22,296百万円、のれん7,418百万円、有形固定資産294百万円）を認識したことによるものです。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

当第3四半期連結累計期間に日本における早期退職特別支援プログラムに伴う退職特別加算金及び米州における医薬品販売事業の最大限合理化等で5,806百万円の事業構造改革費用を計上しており、要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書の「その他の費用」に計上しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（自己株式の取得）

当社は、2022年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2022年5月11日から2022年9月30日までに12,500,000株を総額12,733百万円で取得しました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2022年9月8日（約定ベース）をもって終了しました。

また、当社は、2022年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2022年11月9日から2022年12月31日までに4,427,600株を総額4,900百万円で取得しました。

（1）自己株式の取得を行う理由

利益還元の強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

（2）取得に係る事項の内容

- |              |   |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類  | 当社普通株式  |
| ② 取得しうる株式の総数 | 13,000,000株（上限）<br>（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.4%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 130億円（上限）                                       |
| ④ 取得期間       | 2022年11月9日～2023年3月24日                           |
| ⑤ 取得方法       | 取引一任方式による市場買付け                                  |

（自己株式の消却）

当社は、2022年10月4日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について決議し、2022年10月31日に消却を行いました。

なお、今回消却した自己株式は、2022年5月10日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式になります。

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 消却した株式の種類 | 当社普通株式                                 |
| ② 消却した株式の総数 | 12,500,000株<br>(消却前の発行済株式総数に対する割合3.1%) |
| ③ 消却実施日     | 2022年10月31日                            |

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（自己株式の取得）

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2023年5月12日から2023年12月31日までに12,571,400株を総額16,178百万円で取得しました。

（1）自己株式の取得を行う理由

利益還元の強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

（2）取得に係る事項の内容

- |              |   |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類  | 当社普通株式  |
| ② 取得しうる株式の総数 | 18,750,000株（上限）<br>(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合5.0%)                                       |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 245億円（上限）   |
| ④ 取得期間       | 2023年5月12日～2024年3月22日   |
| ⑤ 取得方法       | 取引一任方式による市場買付け  |
| ⑥ その他        | 自己株式については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により、消却する予定です。<br>なお、投資機会や市場環境等により、一部の取得が行われない可能性もあります。 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名	地域	2023年3月期				2024年3月期			
		第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
緑内障・高眼圧症治療剤領域									
コソプト配合点眼液	合計	18,093	10.3%	23,702	9.0%	19,182	6.0%	24,902	5.1%
	日本	3,709	△18.3%	4,675	△17.3%	3,148	△15.1%	3,949	△15.5%
	アジア	4,452	16.9%	6,110	18.5%	5,114	14.9%	6,481	6.1%
	EMEA	9,931	23.4%	12,917	18.0%	10,920	10.0%	14,472	12.0%
タプロス点眼液	合計	14,519	3.4%	18,744	1.7%	14,069	△3.1%	18,421	△1.7%
	日本	6,075	△8.7%	7,761	△7.7%	4,910	△19.2%	6,334	△18.4%
	中国	785	8.6%	1,045	△10.7%	1,234	57.2%	1,561	49.4%
	アジア	1,663	10.8%	2,277	9.6%	1,750	5.2%	2,425	6.5%
タブコム配合点眼液	合計	6,337	18.6%	8,202	17.7%	7,019	10.8%	9,202	12.2%
	日本	2,071	△3.9%	2,649	△3.2%	1,795	△13.3%	2,177	△17.8%
	アジア	777	32.9%	1,051	28.9%	965	24.2%	1,352	28.7%
	EMEA	3,489	34.0%	4,502	31.7%	4,259	22.1%	5,672	26.0%
トルソプト点眼液	合計	3,685	7.7%	4,882	11.6%	3,791	2.9%	4,930	1.0%
	日本	778	△12.3%	980	△11.6%	692	△11.1%	885	△9.7%
	アジア	320	14.9%	454	18.8%	332	4.0%	426	△6.1%
	EMEA	2,587	14.6%	3,448	19.6%	2,767	6.9%	3,619	4.9%
エイベリス点眼液	合計	3,171	21.2%	4,156	21.5%	3,679	16.0%	4,820	16.0%
	日本	2,994	17.8%	3,905	18.2%	3,374	12.7%	4,372	12.0%
	アジア	177	134.4%	251	116.9%	305	72.3%	448	78.6%
角結膜疾患治療剤領域									
ジクアス点眼液 (ジクアスLX点眼液を含む)	合計	15,701	10.2%	20,988	11.4%	21,142	34.7%	27,369	30.4%
	日本	12,070	17.0%	16,259	21.9%	16,426	36.1%	20,882	28.4%
	中国	2,209	△16.3%	2,772	△32.0%	2,778	25.8%	3,886	40.2%
	アジア	1,422	9.6%	1,957	37.9%	1,938	36.2%	2,601	32.9%
ヒアレイン点眼液	合計	11,633	△12.2%	14,781	△16.9%	12,878	10.7%	16,910	14.4%
	日本	4,485	△12.4%	5,718	△11.6%	4,087	△8.9%	5,008	△12.4%
	中国	4,956	△28.7%	6,433	△28.1%	6,297	27.0%	8,793	36.7%
	アジア	2,192	86.1%	2,630	11.0%	2,494	13.8%	3,110	18.2%
Ikervis (アイケルビス)	合計	5,469	17.6%	6,839	16.8%	9,777	78.8%	12,338	80.4%
	アジア	1,186	46.0%	1,549	40.0%	1,399	18.0%	2,194	41.6%
	EMEA	4,283	11.5%	5,290	11.4%	8,378	95.6%	10,144	91.8%
Cationorm (カチオノーム)	合計	3,288	29.6%	4,010	24.2%	3,281	△0.2%	4,535	13.1%
	アジア	341	△4.8%	441	△5.4%	429	25.9%	553	25.2%
	EMEA	2,141	31.3%	2,626	26.3%	2,219	3.7%	2,931	11.6%
米州	806	47.2%	943	37.7%	632	△21.6%	1,052	11.6%	
抗アレルギー点眼剤領域									
アレジオン点眼液 (アレジオンLX点眼液を含む)	合計	12,155	△16.0%	33,550	14.1%	11,635	△4.3%	30,350	△9.5%
	日本	12,040	△16.3%	33,400	14.1%	11,495	△4.5%	30,173	△9.7%
	アジア	115	41.3%	149	40.2%	140	21.8%	177	18.4%
Verkazia (ベルカジア)	合計	771	66.0%	914	44.4%	1,283	66.5%	1,534	67.8%
	EMEA	600	41.2%	748	28.0%	982	63.6%	1,234	64.9%
	米州	170	335.4%	166	241.2%	301	76.5%	301	81.0%
網膜疾患治療剤領域									
アイリーア硝子体内注射液	合計	54,722	△2.2%	71,257	△1.7%	56,199	2.7%	73,812	3.6%
	日本	54,722	△2.2%	71,257	△1.7%	56,199	2.7%	73,812	3.6%
眼感染症治療剤領域									
クラビット点眼液	合計	8,214	△10.1%	11,381	△2.8%	11,750	43.1%	14,073	23.7%
	日本	1,022	△29.1%	1,285	△26.7%	911	△10.8%	1,221	△5.0%
	中国	4,289	△22.9%	6,309	△9.4%	7,035	64.0%	8,279	31.2%
	アジア	1,782	45.0%	2,380	27.5%	2,658	49.2%	3,148	32.3%
EMEA	1,122	22.8%	1,408	25.0%	1,145	2.1%	1,425	1.2%	
医療機器									
レンティス コンフォート	合計	999	△5.6%	1,331	△6.4%	982	△1.7%	1,347	1.2%
	日本	999	△5.6%	1,331	△6.4%	982	△1.7%	1,347	1.2%
プリザーフロ マイクロシヤント	合計	1,734	44.9%	2,429	50.6%	2,801	61.6%	4,118	69.6%
	日本	24	—	94	—	462	—	689	635.9%
	EMEA	1,707	46.2%	2,326	44.3%	2,292	34.2%	3,359	44.4%
一般用医薬品	合計	8,159	5.4%	10,628	8.7%	8,825	8.2%	11,266	6.0%
	日本	7,326	0.6%	9,595	4.5%	7,927	8.2%	10,147	5.8%
	中国	195	—	262	—	230	18.0%	303	15.7%
	アジア	637	38.3%	771	31.2%	668	4.7%	817	5.9%

(2) 主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2023年3月期 第3四半期	2023年3月期	2024年3月期 第3四半期	2024年3月期 (予想)
USドル	136.22	135.40	143.61	145.00
ユーロ	140.43	140.97	155.60	155.00
中国元	19.86	19.72	20.07	20.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（3）開発状況

2024年1月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

<緑内障・高眼圧症領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国	2022年12月					
プロスタグランジンF <sub>2α</sub> 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2022年12月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
セベタプロスト	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本						
				欧州	(探索的試験)					
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、2023年6月にフェーズ3試験を終了。欧州で、フェーズ2試験（探索的試験）を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州	2023年11月					
				アジア						
プロスタグランジンF <sub>2α</sub> 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。アジアで、2022年3月にフェーズ3試験を終了。欧州で、2023年11月に販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジルメシル酸塩	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	日本						
				欧州	2023年2月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。日本で、2020年11月からフェーズ3試験を実施中。欧州で、販売承認取得しており、2023年2月以降スウェーデンなどで発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト	STN1014000 / PG-324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	欧州	2023年1月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤及びプロスタグランジンF <sub>2α</sub> 誘導体の配合剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。欧州で販売承認を取得しており、2023年1月以降ドイツなどで発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。										

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	中国	2022年4月					
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2022年5月に発売。中国で、2022年4月に販売承認を取得。2023年7月に米国・カナダにおける製造・商業化の独占的権利をHarrow Health, Inc.（米国）へ供与。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本	2022年11月					
				アジア	2023年3月					
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2022年11月に発売。アジアでは、韓国で2023年3月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オロダテロール塩酸塩	STN1014100	ドライアイ	ベーリンガーインゲルハイム	日本	(フェーズ1/2a)					
β2受容体作動薬。日本で2023年1月からフェーズ1／2a試験を実施中。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010904	フックス角膜内皮ジストロフィ	アクチュアライズと共同開発	米国 フランス インド		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。2022年5月から米国、フランス、インドでフェーズ2a試験を実施中。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2022年8月にフェーズ2a試験を終了し、追加のフェーズ2a試験実施を予定。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011402	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本				2023年3月		
ヒスタミンH <sub>1</sub> 受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2023年3月に製造販売承認を申請。										

<屈折異常領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本 中国 アジア		(フェーズ2/3)				
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2023年10月にフェーズ2/3試験を終了。中国で、2022年6月からフェーズ2/3試験を実施中。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Sydnexis社	欧州						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験を実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有。										

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガーインゲルハイム	日本 中国		(フェーズ2a)				
小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM <sub>2</sub> 受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2023年5月にフェーズ2a試験を開始。中国で、2023年8月にフェーズ1試験を開始。										

<その他の領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オキシメタゾリン塩酸塩	STN1013800	眼瞼下垂	RVL Pharmaceuticals社	日本						
直接作用型αアドレナリン受容体作動薬。米国では、RVL Pharmaceuticals社が開発し販売中。日本で、2022年10月からフェーズ3試験を実施中。										

■2023年度第2四半期決算発表時（2023年11月7日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1013001 / DE-130A	欧州で、2023年11月に販売承認を取得。
STN1013600	フェーズ2a試験データ解析の結果、開発を中止。

※STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、日本、アジアで製品名エイベリスとして販売しています。米国では製品名OMLONTIとして販売承認を取得しており、2023年7月に米国における製造・商業化の独占的権利についてVisiox Pharmaceuticals, Inc.（米国）へ供与しました。

（4）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	17,295	21,144	6,576	13,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総 額	3,802	4,943	4,593	6,960
製 造 経 費	1,743	2,342	2,460	3,550
販 売 管 理 費	1,603	1,986	1,684	2,720
研 究 開 発 費	456	615	449	690

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総 額	7,225	9,518	7,083	9,400
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	4,356	5,808	4,356	5,810
Rhopressa/Rocklatan無形資産償却費	—	281	930	1,120
ブリザーフロ マイクロシャント無形資産償却費	867	1,149	914	1,100
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	597	798	661	790
E y e v a n c e 無 形 資 産 償 却 費	1,149	1,142	—	—
そ の 他	257	340	222	580

■研究開発費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績*	通期見込
研 究 開 発 費	21,682	28,297	18,208	29,000
対 売 上 収 益 比	10.9%	10.1%	8.2%	9.6%

\*IFRS（フル）ベースの金額です。なお、コアベースの研究開発費は、米州の合理化に関する費用2億円を控除し、18,050百万円です。

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。